

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー 1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー 1 リーダーシップと意思決定）
	1) 子どもの人権や主体性を尊重し、逞しく生き抜く人づくりをします。 2) 一人ひとりの子どもの個性を認め、自分を発揮できることを目指します。 3) 自然に触れながら感性豊かに過ごせることを目指します。 4) 思いやりのある、やさしい気持ちがもてることを目指します。 5) 心身ともに健康に過ごせることを目指します。
2	期待する職員像（関連 カテゴリー 5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	幼い子ども達と直接かかわる保育者としての人間性を念頭におき、日々の保育に努めていける保育士であることや、保護者が安心して預けられるよう、保護者の気持ちに寄り添い「笑顔での対応」ができる保育士であって欲しいと思います。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	・ 子どもの命を預かっているという責任感の持てる保育士。 ・ 職員間のコミュニケーションを円滑にし、チームワークを意識して行動する保育士。 ・ 子どもの個性を認め、個別の対応と保護者支援がしっかりできる保育士。 ・ 保育力の向上に向けて、自己啓発に積極的な保育士。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	9月1日現在、保育園を利用している全世帯を対象に調査を実施しました。兄弟姉妹のいる世帯は、1世帯として扱い、一番年齢の低いお子さんを対象として回答してもらいました。		
調査方法	無記名方式。QRコードを記載したアンケートの案内を事業所を通じて保護者へ配付し、WEB上でアンケートに回答してもらい、取りまとめました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。		
	利用者総数	11	
	利用者家族総数（世帯）	11	
	共通評価項目による調査対象者数	11	
	共通評価項目による調査の有効回答者数	11	
	利用者総数に対する回答者割合（％）	100 %	

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では、「大変満足」6名、「満足」5名であり、利用者全員100％が満足と回答しています。多くの項目で「はい」90％以上となり、高い満足度がうかがえます。

自由意見では、「子供を大切に対応している様子がわかり、とても安心して預けられます」、「感謝でいっぱいです。いつもありがとうございます!」、「先生がとても親身になって子供の成長を見守ってくださっていると感じます。子供の好きなものにとことん寄り添い、時には厳しく指導してくださりメリハリのある環境に感謝しています」、「できる限りのことを工夫して日々たくさんのかたちを経験させていただいています」など園に対する感謝の声が寄せられています。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	11	0	0	0
100％の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「お友達との関わり合いの中で、心身ともにたくさん成長していると思います」、「育園に行き始めてから食事、着替え、トイレなどいろいろなことができるようになっています。いつもやさしく寄り添って甘えさせて頂いてありがとうございます」などの声がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	11	0	0	0
100％の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「好きなものにとことん寄り添ってくれていると思います」、「毎日「今日は先生と〇〇した!」と報告をうけて親子共々、楽しんでいます」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	10	1	0	0
91%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「美味しそうで、食べたいです!」、「たくさん食べているようで安心しています」、「アレルギー対策をしっかりと行って下さいます」などの声がありました。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	9	2	0	0
82%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「毎日公園まで散歩に連れて行ってもらい、色々なものと触れ合っている」、「どんぐりや虫など、たくさん名前を覚えて帰ってきます」、「暑い日は室内でリトミックやバランスストーンなど行っていて良いと思います」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	7	1	0	3
64%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「対応して頂いています」、「こちら、あらかじめ連絡するよう今後も努力します」などの声がありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	10	0	0	1
91%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「定期的に避難訓練もしていただいています」などの声がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	8	2	1	0
73%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「早めに教えて下さり対応がしやすいです」、「月初の行事は早めにお知らせされるとありがたい」などの声がありました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	11	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「いつも相談に乗ってもらっています。ありがとうございます」、「毎日の連絡帳に事細かくその日のことを書いてくださり、こちらのコメントにも快く返答して下さいます」などの声がありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	10	0	0	1
91%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「しっかりと整理整頓されていると感じます」などの声がありました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	11	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「柔らかい雰囲気先生が多くとても安心いたします」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	10	1	0	0
91%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「必ず連絡を下さり、その都度対応を教えてください」などの声がありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	9	0	0	2
82%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「しっかりと連絡を下さり、理由なども教えていただけるため、安心しております」などの声がありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	11	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「子供の特徴をしっかりとらえて対応していただいております」などの声がありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	9	0	0	2
82%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「信用して預けられます」などの声がありました。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	11	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「細かいところまで説明して頂けます」、「いつも保育日誌、お迎え時の報告で子どものいきいきとした様子を書いてくださって楽しく拝見しています」などの声がありました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	9	0	0	2
82%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「基本、不満になる内容はありませんが、対応をお願いしたい時には、すぐに対応していただけてます」などの声がありました。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	10	0	0	1
91%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「入園時の説明にて伝えられた」、「定期的に、プリント等を頂き、説明があります」などの声がありました。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー 1～5、7）

No	共通評価項目		
1	カテゴリー 1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー 1（1－1）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 7 / 7
	評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目 2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目 3 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点（〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリー 1 の講評		
	<u>保育の基本理念は、事業計画書、募集用パンフレットにも記載しています</u> 年度始めには事業計画書及び基本理念（運営方針）を作成し、職員会議や園内研修を実施するなかで、園が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）についての確認や周知がされています。また、「園の募集用パンフレット」等にも同様の内容を記載することにより保護者に伝わるようにし、玄関掲示板にも貼り出して保護者・職員がいつでも確認できるようにしています。なお、基本理念は、“子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善を守る”、“ふさわしい生活を豊かに作り上げる”、“家庭との連携のもと、養護と教育の一体化”としています。		
	<u>園が目指していることの実現に向け、園長は年度始めに取り組み計画を説明しています</u> 園長は、年度始めに園が目指していること（基本理念・ビジョン・保育理念）の実現に向け、「2024年度全体的な計画」にて、園の理念と取り組みの概要を説明しています。次いで、職員会議では、新年度体制の説明と役割分担		

	を提示し、職員の役割・責任について述べています。さらに、“チームワーク”で仕事を進めてほしい旨も伝えてい ます。このように、園長は、園全体の取り組むべき内容をわかりやすい形で職員に説明しています。また、日々に職 員が保育計画に沿って、良い保育ができるように環境整備面を含めた支援にも努めています。 <u>重要案件の検討・決定手順は基本マニュアルにルール化がされています</u> 重要案件の検討や決定手順が決められており、基本マニュアルにその意思決定フローが明示されています。園内 においては、月1回の職員会議前に議題を伝え、反省や意見検討を持ち寄って話し合い、結論を記録し、参加できない 栄養士には会議後に口頭あるいは回覧にて伝達・周知しています。また、法人園長会での報告内容は、園長から職 員会議にて決定経緯を含めた説明があります。保護者に向けては、入園時の重要事項の説明、園だより、保健だよ り、給食だより、区からの連絡等があり、必要に応じて玄関にも掲示しています。		
2	カテゴリー 2		
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリー 1 (2-1)		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出 している	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6 / 6
	評価項目 1		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点 (○○○○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
	サブカテゴリー 2 (2-2)		
	実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5 / 5
	評価項目 1		
	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現 に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点 (○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向け た中・長期計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
	評価項目 2		
	着実な計画の実行に取り組んでいる		評点 (○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進 方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示してい る	○非該当
	●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしなが	○非該当

	ら取り組んでいる		
	カテゴリー 2 の講評		
	<u>保護者及び職員の意向・ニーズは、次年度の改善あるいは配置などに活かされます</u> 保護者の意向の情報収集は、園からの利用者アンケート（園評価、毎年2月）を主として活用しています。また、行事参加後にも感想や検討案件が保護者から園に伝えられ、園としてどのようにするかの回答を直接又はお知らせ掲示板で伝えています。さらに、2月の園評価を含め、保護者意見や要望に対する回答は、年度後半の保護者会でも共有しています。園の運営に対する職員の意向調査は、園長が面談を行い職員の思いを受けとめています。把握した保護者及び職員の意向・ニーズは、次年度の改善や配属・配置に反映されます。		
	<u>園を取り巻く内外の状況を様々なルートで入手し課題・ニーズを抽出しています</u> 園を取り巻く内外の状況の把握には幾つかのルートがあり、行政である国・都・区から保育や福祉に関する情報がメール等により送られてきています。とくに、足立区からの情報は随時把握して、回覧あるいは必要に応じて掲示板に貼りだすことで園内に共有をしています。また、足立区内の小規模保育事業者の全体会議、あるいは法人グループ内の定例園長会でも、地域の状況を確認し合うなかで課題・ニーズの抽出がされています。一方、会社としての経営状況は、法人事務局や会計事務所から適宜、情報開示や詳細説明を受けています。		
	<u>法人の中・長期計画を基に当園の単年度の事業計画を策定しています</u> 中長期計画には、園の目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向け、ありたい姿を明確にして、保育サービスの実施内容、地域支援機能、開かれた運営、人材育成・援助技術の向上、の各項目に対してどのように向き合うかが明確にされています。令和6年度事業計画書は前年度の実績報告と中長期計画を受けた形で策定されています。また、事業計画のなかの年間行事では、各行事について企画書を作成、終了後には反省と次回への課題を取り上げ、振り返りを行いながら内容の充実と職員のスキルアップが図られています。		
3	カテゴリー 3		
	経営における社会的責任		
	サブカテゴリー 1（3－1）		
	社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2 / 2
	評価項目 1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
	●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
	サブカテゴリー 2（3－2）		
	利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4 / 4
	評価項目 1 利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
	評価項目 2		

虐待に対し組織的な防振対策と対応している		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー 3 (3 - 3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5
評価項目 1		
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目 2		
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点 (〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 3 の講評		
<u>園として守るべき法・規範・倫理などについて、周知と遵守が図られています</u> 子どもの権利と尊厳については、法人研修のテキストを基に、職員会議や園内研修等で基本事項の確認を実施しています。また、「保育の質ガイドガイドライン」（足立区、H30.4）の「保育実践振り返りシート」を利用して半期毎に振り返りをするとともに、年度末には「自己評価チェックリスト」を実施しています。さらに、コンプライアンスに関する法人研修を受講し、園に持ち帰り園内研修で情報を共有しています。このように、保育サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）の周知・遵守・振り返りに取り組んでいます。		
<u>利用者の意向(とくに苦情)があった場合、丁寧に対応する体制を整えています</u> 苦情解決制度を利用できることや園以外の相談先（第三者委員、足立区幼稚園・地域保育課）を遠慮なく利用できることを、入園時に「重要事項説明書」の該当部分を示して説明し、園のホームページにも「重要事項説明書」を引用して掲載しています。また、「苦情解決規程」（星風会）が整備されており、保護者から申し出があった場合には、記録を残す仕組みがあります。現在までに特に苦情を受けてはませんが、連絡があった場合には、真摯に受け止めて対処することとしています。職員には園内研修にて、この仕組みの周知がされています。		
<u>園としての透明性を高め、地域との関係づくりと課題解決に向けて協働しています</u> 足立区ホームページ、或いは法人（星風会）ホームページにも園の情報を掲載し、利用者がいつでも閲覧できるように配慮しています。当園は乳幼児施設ということで、看護実習生やホームサポーターの実習の受け入れに対応しています。前者は学校からの依頼であり、後者については、地域のサポーター研修修了者のフォローアップ研修（見学）ということで開放しています。さらに、足立区主催の地域ネットワーク（保健所、こども支援センターげんき）に出席し、地域情報や課題解決を共有して、連携して活動ができる様		

	に取り組んでいます。		
4	カテゴリー 4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー 1 (4-1)		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5
	評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
	●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
	●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当
	●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
	●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
	サブカテゴリー 2 (4-2)		
	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4
	評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 (〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当	
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当	
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当	
カテゴリー4の講評			
<u>日常保育のヒヤリハットを集計分析して、子どもの命に関わることを最優先しています</u> 年度末の保育反省会議では、リスクの多かった内容を「ヒヤリハット報告書」の集計から見直し、分析にて対応策や解決方法を探っています。具体的には、子どもの命に関わることを最優先して、安全保育プロジェクト担当の検討後に、園全体で討議する場を設けています。当園のように園庭を持たない小規模園では、毎日園外での活動が中心になるため、園児の出入り、散歩先での活動に細心の注意が必要となっており、全職員が安全への意識をしっかりと持って活動できるように努めています。 <u>BCPや安全計画が作成され、これらに基づく訓練実施、各種チェックリストがあります</u> 「緊急時対応マニュアル」にはその後の対応策が求められて来たため、足立区の方針等も受け入れて「事業継続計画（BCP）」のマニュアルを策定しています。本マニュアルは年度末に見直し、安全保育プロジェクト担当を中心に改善の予定でいます。これの一環として、災害発生時の「保護者引き取り訓練」も実施し、引き取りの場所・方法を正確に覚えてもらうようにしています。また、園だよりを通して、保護者の防災意識の啓発にも取り組んでい			

	ます。さらに、「安全計画」(R.5.4)も作成されており、各安全チェックリストなどが整備されています。 <u>個人情報管理規程を定めており、情報漏洩・個人情報の管理を徹底しています</u> 個人情報管理規程が設定されており、年度始めに職員に周知しています。また、実習生には事前の打ち合わせで“守秘義務”のあることを伝え、実習記録の取り扱い等、法令順守の立場で活動してもらうように説明をしています。なお、収集した情報は種類別にファイルし、保管文書ファイル棚に整理しています(職員帰宅時に鍵かけ)。重要書類については、鍵の掛かる引き出しで園長が管理をしています。PCは園長のパスワード(本部システム管理者指定)のみを使うことができ、アクセス制限を設けています。		
5	カテゴリー 5		
	職員と組織の能力向上		
	サブカテゴリー 1 (5 - 1)		
	事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	12 / 12
	評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点 (〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
	評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
	評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
	●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
	評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当	
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当	
サブカテゴリー 2 (5 - 2)			

組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3 / 3	
評価項目 1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点 (〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている		○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		○非該当
カテゴリー 5 の講評			
<u>人材確保に向け、法人本部との協働による採用活動を展開しています</u> 園の求める人材の確保に向け、法人による求人専用Webサイトでの募集の他、法人本部との協働にて学校訪問（専門学校等）をして、園長自ら職場の説明をする機会も設けています。また、人事異動・配置については、採用時での希望確認の他に、年に一度、グループ内全体で意向調査（アンケートのみでなく、面談を通しての意向確認を含む）を行っており、柔軟な異動・配置に配慮しています。また、欠員が出た場合には、単なる補充ということではなく、園の求める人材像や園の状況を踏まえた採用としています。			
<u>職員育成にはキャリアパスと処遇を連動させ、意欲向上につながるように支援しています</u> 法人本部により「保育士キャリアパス」が整備されており、これは職層に応じて求められる能力と必要な研修を関連づけたものです。これに基づき、キャリアパスを踏まえた職層・職種（園長・主任・リーダー・中堅・新人・看護師・栄養士）の法人研修が計画的に実施されています。また、職員育成計画に基づき職員の目標設定を支援しており、キャリアパス受講者には処遇を連動させています。リーダー層の職員には、重要案件プロジェクトの立ち上げ時に、職員全員を牽引してもらい、意欲的に取り組んでもらえるように促しています。			
<u>研修報告は皆で情報共有し、課題は職員皆で検討しながら解決につなげています</u> 研修終了後は研修報告書を職員会議にて報告し、資料の回覧も実施して情報共有しています。重要な内容・課題については園内研修で取り上げ、保育に活かすために解決に向けた研修をしています。また、毎日の保育で気になった事は、その都度振り返り、主任・担当者が職員会議で提案し、改善の策を皆で考えるようにしています。月の反省は子どもの年齢別に課題を抽出して問題提議をし、あるいは全体会議で取り上げて検討をしています。また、行事計画等は、職員の意向を確認しながら、園長・主任で決着して進めています。			

7	カテゴリー 7	
	事業所の重要課題に対する組織的な活動	
	サブカテゴリー 1 (7-1)	
	事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
	評価項目 1	
	事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1）	
	前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）	
	【目標】子どもたちの安全・安心な生活を守るために、事故防止を踏まえた取り組みを計画。さらに、安全・安心な保育活動に向けて、保育環境の整備・工夫・日常の点検を進める。 【理由・背景】全国の様々な場所で園児の死亡事故が取り上げられる中、子どもの命を預かっている施設の重要課題としてこの目標をとりました。また、特に園庭のない小規模園では、近隣の公園は大事な活動の場であり、十分な安全確認は必須と考えました。 【計画内容】以下の5項目を計画しました。①安全計画策定後、危機管理プロジェクトを立ち上げ、リーダーは足立区の研修を受講、②①の研修内容の職員全員での共有、当園の安全・安心な保育活動のための見直し、③リーダーを中心に、避難訓練・園外保育・散歩時の安全・食事・午睡の安全について話し合う。④利用公園の経路、遊具の安全確認の現地調査の実施、⑤緊急時の様々なパターンを想定し、それに対応するための役割をアクションカードとして作成する。	
	目標の設定と 取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
	取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない（目標設定を行っていない場合も含む） ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
	【結果・度合い】上記計画の①～⑤をすべて完遂しました。ただし、事故は今回取り組みをした以外にも様々な場面で起こり得る可能性が考えられ、注意をしても事故は絶対起こらないとは言い切れないと思われ、有効性評価の観点では70%の出来栄と判断します。ただし、安全計画の策定は今回とても良いきっかけとなり、改めて保育の活動見直しをこれまでよりも深い形ですることができました。 【今後に向けて】今年度のWeb研修の中で「ヒヤリハット」の内容が取り上げられ、事故を無くするためには小さな段階での防止が大切であると強調されていました。今年度はこの「ヒヤリハット」を活用し、園内研修の中で小さな問題が起きた時の安全対策を考える事を進めています。	

評価項目 2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2） 前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ） 【目標】保育の質向上に向けた研修への積極的な参加を進める。「キャリアアップ研修」をはじめ、「足立区の研修」、「法人研修」、「Web研修」については、園内の体制を整えてしっかりと参加できるようにする。 【理由・背景】小規模での日中の研修参加は難しい面があるが、研修受講体制を整え、参加した職員は園に持ち帰り、園内研修で情報を伝え共有することで、学びをつないでいきたいと考えているためです。 【計画内容】以下の4項目を計画しました。①「キャリアアップ研修」は計画的に参加できるよう、本人の希望とシフト作成時に調整する。②「足立区の研修受講」については、仕事の役割に関わっている内容の時はしっかりと参加する。終了後には全職員に共有をする。③「法人研修」への参加（多くの場合、土曜日午前設定）、④園内での「Web研修」の進め方は、トップダウン方式から、プロジェクトリーダー（教育担当職員）が進行していく方法に切り替えをする。	
目標の設定と 取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない（目標設定を行っていない場合も含む） ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 【結果・度合い】①「キャリアアップ研修」は各職員が段階的に受講した。②「足立区の研修」受講は、直接保育に関係することが多く可能な時にはしっかりと受講し、園内に持ち帰り情報共有した。③「法人研修」は、園長はじめ土曜保育に影響しない職員が積極的に参加した。現場で役立つ内容が多かった。④園内での「Web研修」の進め方は、プロジェクトリーダー（教育担当職員）が旗振り役として機能した。新しい役割はやりがいもあり、意欲的に取り組みました。以上①～④ の総合点として90%と評価しました。 【今後に向けて】上記④の実績を通して、園内研修の内容・取り組みが、職員主体でも進められるように変化しています。また、思ったことを積極的に進められるような体制が確立して来ているようにも思われます。さらに、「保育の質ガイドライン」(足立区、2027.3)を定期的に振り返り、自己評価では職員自身の保育の見直しをしました。その結果を受けて、職員が次のステップに進む時には、園長面談を実施するなかで次年度の目標設定をするようにしています。	

〔サービス分析：小規模保育事業〕

II サービス提供のプロセス項目（カテゴリー 6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー 1		
	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4	
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点（〇〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー 1 の講評		
	ホームページを通じて、園の概要や園が大切にしている保育理念・方針を伝えています ステラ綾瀬のホームページは、イラストで飾った小規模保育室の窓の写真から始まり、日常の保育の様子とともに、園長からのメッセージ、利用定員、開所時間、対象年齢、年間行事予定等の基本情報を写真やイラストを用いながらわかりやすく紹介しています。また、保育の基本理念、運営方針、食育活動等も紹介し、保育目標が「丈夫な身体、元気な子、明るくやさしく、素直な子、みんなと仲よく遊べる子」であることを明記しています。 「保育園のしおり」を用意し、区のホームページや子育てガイドに情報を掲載しています 表紙にイラストを配した情報量の多い「保育園のしおり」を用意しています。しおりには、概要として対象年齢、保育時間、定員、職員、嘱託医を記載しています。またホームページ同様、保育の基本理念、運営方針、保育目標とともに、保育目標を達成するために大切にすること6つについても明記しています。他に区が発行する冊子（子育てガイド）や区の公式ホームページにも園の連絡先等が掲載されており、区の保育コンシェルジュにも情報を載せています。 利用希望者の問い合わせや見学希望者には、園長が個別に対応しています 利用希望者からの問い合わせや見学の際は園長が個別に対応し、保育方針・保育目標や利用条件・保育内容について配付資料（見学者用のしおり）をもとに説明し、育児相談にも応じています。持ち物、保育時間、保育士の人数などについて話し、質問にも答え、入園申し込みの参考にしてもらっています。見学可能な曜日は設けずに常時対応しており、見学希望者の都合に合わせてゆっくり話ができる時間帯、子どもたちの活動の様子を見たい場合など、それぞれの希望に配慮するとともに園の保育が理解されるよう丁寧な説明・対応を心がけています。		
2	サブカテゴリー 2		
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6 / 6	
	評価項目 1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点（〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
	評価項目 2		

	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点 (〇〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
	サブカテゴリー 2 の講評		
	<u>入園前の個別面接を行い、園の重要事項など丁寧に説明し同意を得ています</u> 入園が決定した人には園から電話して入園の意思を確認し、児童票・健康記録などの入園に必要な書類を保護者に郵送しています。サービス開始にあたり、保護者との入園前の個別面接を実施し、1時間程かけて、記入して持参してもらった必要書類を確認しながら「重要事項説明書」に沿って丁寧に説明し、保護者の同意のサインをもらっています。園だよりやホームページで子どもの写真を掲載することなどについても、事前に同意書で保護者の同意を得るようにし、慣らし保育の進め方や、食物アレルギー等の配慮、意向食の確認も確認しています。 <u>子どもが無理なく新しい環境に入れるように、「慣らし保育」を行なっています</u> 子どもが新しい環境に入ることによって不安や負担等が生じることを丁寧に保護者へ説明し、保護者の就労状況や意向も考慮しながら「慣らし保育」を実施しています。子どもの状態も見ながら個別に決定しており、数日かけて少しずつ時間を延ばし通常の保育時間に移行しています。朝の受け入れでは連絡帳の記載事項や保護者との会話から子どもの様子を聞き取り、降園時には保護者への声掛けを増やして一日の子どもの様子を詳しく伝えています。SIDS（乳幼児突然死症候群）防止についても説明しています。 <u>退園後も、子どもや保護者と継続的な交流を図っていきたいと考えています</u> 卒園含め、保護者転居など様々な理由で退園していく子どもには、子ども一人ひとりの今までの成長がわかるように毎月の写真を一冊にまとめたフォトアルバムをプレゼントしています。制作帳、作品集、メッセージなども渡して、皆でお別れをしています。0～2歳児の園のため、3歳児クラスに進級の際には全員が他園に行くこととなりますが、継続的な交流を図っていきたいと考えており、退園後も相談に応じること伝え、近くに来た際は遠慮なく立ち寄って下さいと話しています。		
3	サブカテゴリー 3		
	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 1 2 / 1 2	
	評価項目 1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点 (〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
	●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
	評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点 (〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
	●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当

	●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
	●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当
	評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
	評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリー 3 の講評			
<u>子どもの情報は児童票ファイルに集約し、成長する姿を丁寧に記録しています</u> 入園前面談では、保護者の記入した家庭状況、生活状況や健康記録をもとに、保護者の意向を確認しています。子どもの基本的な情報、家庭状況、成育歴、発育歴、予防注射の接種状況、緊急連絡先やかかりつけ医などの情報など児童票ファイルに集約しています。保育日誌には、生活や遊びの活動内容とともに子どもの姿や保護者への配慮・反省を個人別に記録して子ども一人ひとりの把握に努めています。保護者のニーズの把握は、日々の連絡帳、登降園時の会話や個人面談、行事後や年度末に行うアンケート等で把握し、記録しています。			
<u>全体的な計画に沿って、一人ひとりの発達状況に応じて指導計画を作成しています</u> 全体的な計画をもとに、養護と教育の各領域を考慮して指導計画を作成しています。年間計画や月案は年齢別に策定し、日々子どもの状況等を話し合い、状況の変化に応じて見直しを行なっています。計画は、子どもたちの興味関心を高める内容で、多様な体験が得られるように工夫を凝らしています。保護者への指導計画の明示はありませんが、毎月の園だより・クラスだより・保健だより・給食だよりで「月のねらい」や保護者との対話を通して伝えています。また年2回の保護者会でも保育園評価の報告とともに伝えています。			
<u>日々のミーティング、保育日誌、職員会議などで子どもたちの様子を把握しています</u> 児童票等子どもに関する情報は、必要な時に職員がいつでも確認できるようにしています。保育日誌には保護者からの連絡や子どもの変化等を記入し、ミーティングノートも活用し、職員間の口頭での確認も都度行い連絡漏れを防いでいます。小規模な園のため園長含め職員全員が子ども一人ひとりの姿を良く把握しており保護者とも仲が良く情報を共有しやすい環境となっています。職員は記録のスキル等を身に付けていますが、記録の書き方等のレベルアップを図っていききたいとして「児童票の保育経過記録について」園内研修も行なっています。			
5	サブカテゴリー 5		
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5 / 5
	評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当

	●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当												
評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点 (○○○) <table border="1"> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている</td><td>○非該当</td></tr> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当													
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当													
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当													
サブカテゴリー 5 の講評															
園での個人情報の取り扱いについては、入園時に保護者に説明し同意を得ています 子どもに関する情報を外部とやりとりする際には保護者の同意を得ており、重要事項説明書の中で関係機関への情報提供について明確にし、透明性を保っています。子どもの写真などホームページへの掲載も保護者に確認し、意向に沿って対応しています。子どもの羞恥心への配慮として、おむつ替えや着替えの場合は他者からの視線を少ない場所で行う等配慮しています。着替えや排泄時はもちろん、日常の言葉掛けにも配慮し、職員間で日々の振り返りを通じて意識を共有しています。 子どもと保護者の気持ちを大切にした保育を実践しています 家庭によって異なる価値観や生活習慣があることを十分理解し、子どもと保護者の気持ちを大切にした保育を実践しています。系列園共通の「ステラ保育園の人権教育」をもとに日々保育を行い、年度始めには「子どもの人権を尊重する保育」に係る研修も行ない、理解を深めています。区のガイドラインに沿った「振り返りシート」を使用し、自らの言動や保育を再確認する機会を設けています。保護者とともに子どもの成長を見守り、子どもの一人ひとりの気持ちや思いを受け止め、子どもの気持ちに寄り添いながら健やかな育ちを支える保育に努めています。 経験豊富な園長を中心に専門機関との連携を密に取っています 経験豊富な園長を中心に関係機関との連携を図り、虐待防止や権利擁護を学んでいます。虐待対応マニュアルや人権教育マニュアルもあり、虐待に関わる外部研修や法人研修に参加したり、園内でも理解を深めています。日々の保育の中で子どもと保護者の様子を観察し、支援が必要と思われる場合には「足立区子ども支援センターげんき」など関係機関と連携して対応できるようにしています。育児困難家庭の支援や保護者支援に取り組み、配慮が必要な子の保育等で知識と経験の豊富な園長を中心に専門機関との連携も密に取れています。															
6	サブカテゴリー 6														
事業所業務の標準化		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5													
評価項目 1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点 (○○○) <table border="1"> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している</td><td>○非該当</td></tr> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当													
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当													
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当													
評価項目 2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点 (○○) <table border="1"> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている</td><td>○非該当</td></tr> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当						
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当													

	●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
	サブカテゴリー 6 の講評		
	<u>園では必要な基準書・マニュアル・書式が整えられており、すぐの参照が容易です</u> 園の拠り所となる手引書（基準書・マニュアル・手順書）、並びにこれに関連する記入様式・チェック表が設定されており、「保育園文書」にて一覧化され、組織管理、建物設備、人事・総務、児童入所、保育状況、災害対策、保安設備、給食・衛生、健康・安全、会計 に項目が分類され、保存年限も定められています。これらのマニュアルは、職員がいつでもPCで閲覧可能なようにネットワーク上でファイリングがされています。なお、保育関連のものは、クラスのファイリング棚に必要な手引書のプリント版が置かれ、見たい時にすぐに参照できます。 <u>拠り所である基準書・マニュアル類は必要に応じて改訂される仕組みがあります</u> 保育の基本事項や手順について、これが標準的なものであり現在適切かの点検は、主として法人本部の役目となっています。なお、園からの提案に基づき、グループ内園長会（毎月中旬に開催）の後に見直し検討を行う機会を設けており、適切と判断されれば改訂案を本部へ提出し、そこで専門家メンバーによるレビュー（月末）がされ、合意を得て改訂が承認される流れです。このように、重要事項や改善に対応したマニュアル類への反映は、随時改訂版が出され、園内にて新たなマニュアルとして活用される仕組みが運用されています。		

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー 6-4）

サブカテゴリー 4				
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3 4 / 3 4		
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている			評点（○○○○○）
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつぎ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
評価項目 1 の講評				
<u>小規模園の利点を活かし職員全員が把握し一人ひとり大切にする保育に取り組んでいます</u> 0～2歳児対象の小規模な園の特性を活かし、職員全員が子ども一人ひとりの全体的な姿を把握しています。子ども一人ひとりの家庭の状況、入園までの生活状況、健康記録、入園後の発達の経過記録などをもとに、日々生活を共にする中で、現在の発達状況を把握することに努めています。アットホームな雰囲気の中でゆったりと保育が行われ、外国籍の子どもも分け隔てなく自然に溶け込めるよう配慮しています。子どもの成長や発達にあった保育環境の整備に努め、子どもそして保護者の思いを受け止め、一人ひとりを大切にする保育に取り組んでいます。 <u>年齢の違う子どもたちが一緒に活動し、子ども同士の触れ合いが深まるようにしています</u> 0～2歳児がワンフロアの保育室内で一緒に生活しているため、少人数ながら子ども同士の関わりが多く、異年齢の保育が日常生活の中で自然な形で行われています。クラスごとの各コーナーには子どもが興味や関心を持てるように年齢に応じた玩具や絵本等がすぐに手に取れるように設置され、子どもたちが大好きな電車や車の玩具もたくさんあり子どもが自身で遊びを選択してじっくり遊び込めるような時間、空間、物の数が確保されています。散歩や行事、ごっこ遊びなどでも年齢の違う子どもたちが一緒に活動しており異年齢で過ごす中で刺激を受けています。 <u>子ども同士のトラブルは、それぞれの気持ちを尊重した対応を心がけています</u> 小さい子ども同士のトラブルには、それぞれの思いを汲み取りながら職員が仲立ちして気持ちを伝えられるように話し、友だちへの関心の表れと捉え職員が目を見守るようにし、発達段階で起きる大切なことを伝えて保護者の理解を求めています。まだ言葉で十分表現できないため、職員が子どもの気持ちを受け止め、気持ちを言葉で伝えるようにし、表現の仕方や友だちの気持ちに気付くように話しています。トラブルが何度も重なる時は、職員の立ち位置や環境を整え、次の行動を予測して未然に防ぐよう努めています。				
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			評点（○○○○○）
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当	
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当	

	●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
	評価項目2の講評		
	登降園時は、その日の出来事やエピソードを保護者に丁寧に伝えています		
	朝の始まりが気持ちよく迎えられるよう、笑顔で迎え、元気に挨拶を交わし、保護者が安心して仕事に向かえるよう「いってらっしゃい」の言葉は欠かしません。登園時の受け入れでは、機嫌は良いか、顔色や全身状態はどうかなど確認しながら一人ひとり検温し、一日の園生活を元気に過ごせるように、保護者から家での様子を口頭や連絡帳で確認しています。降園時はその日初めてできたことなどを伝えるなど、子どもの一日の様子を丁寧に伝え、親子で会話しながら楽しく帰宅してもらえるように配慮しています。		
	無理なく意欲的に生活習慣を身につけることができるよう保護者と連携して進めています		
	基本的な生活習慣については、家庭での生活習慣や様子を確認しながら、園での取り組みや取り組んで行きたいことを保護者に伝え、連携しながら一人ひとりの発達状況に応じて対応しています服の着脱や排せつを知らせること等、生活や遊びを通して子どもの意欲が芽生え始める時期と捉え、子ども自身ができた達成感を味わえるよう配慮しています。トイレトレーニングにおいても子ども一人ひとり個人差に配慮しながら、無理強いすることなく、家庭と連携して進めています。		
	子どもの年齢や体調、活動内容を考慮して十分な休息をとれるよう配慮しています		
	保育室内で、安心して眠ることができるような環境を作っています。子どもが家庭でどのくらい睡眠をとってきたか、戸外遊びで疲れているかなどをよく見て、十分な休息がとれるよう配慮しており、月齢の低い子どもは午前中にも睡眠をとっています。個人差が見られるため、早く目覚めた子どもは身体を休めたり、静かな遊びをして過ごしています。午睡中、職員は子どもの傍らを離れず、午睡チェック表にしたがい、ブレスチェック、体の向きなど確認し安全な睡眠の確保に努めています。午睡マニュアルも整え、0歳児はベビーアラームも使用しています。		
	3	評価項目3	
	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点（○○○○○○）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
	●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
	●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがぎまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
	評価項目3の講評		
	夢中になるものを見極め、子どもたちの興味を引き出しています		
	子どもが主体的に遊び込めるように、絵本コーナー、キッチンコーナーなど複数コーナーを設け、自然にごっこ遊びを始めたり、机上でブロックやパズルができるよう環境を整えています。子ども一人ひとり夢中になるものを見極め、好きな電車や車のほか、恐竜が好きな子どもに対してフィギュアや図鑑なども用意しています。職員自ら探し用意したり、子ども一人ひとりの興味を大切にしています。手作り玩具も多く、職員の手で多くつくられており、保育室は子どもたちにとって魅力ある環境となっています。		
	絵本の読み聞かせ月間を設定するなど、絵本に親しむ機会を大切にしています		
	絵本に親しむ機会を大切にしており、乳幼児期の言葉の発達の支援として、絵本に親しみながら子どもが読みたい		

	本を読む等の読み聞かせを実施しています。「楽しく、夢の広がる絵本で想像力を養う」ことを目的に、10月11月は絵本の読み聞かせ月間として設定し、読み聞かせ月間に合わせて園内研修で振り返り、次につなげています。言語の発達に著しい時期の興味を誘うように、本棚には絵本の表紙が見えるように置き、子どもの表現を大切に受け止め、職員は常に優しい声がけを心がけています。 <u>天気の良い日は毎日散歩に出かけ、四季の自然に触れて遊ぶ機会を大切にしています</u> 園庭がないため近隣の公園を園庭代わりに天気の良い日には毎日散歩に出かけ、子どもたちが自然に触れたり、季節の移り変わりを肌で感じ取る機会を大切にしています。公園でどんぐり拾いをしたり、枯れ葉を踏んで音を楽しんだり、持ち帰って製作に使ったり、興味・関心がもてるようにしています。クリスマス時期の訪問調査でしたが、どんぐりや松ぼっくりを多く使ったクリスマスリースが玄関掲示されていました。水遊びは目隠しフェンスのあるテラスで行いブルーシートを敷いて保育室内でも実施することもあります。水遊びマニュアルも整備しています。		
4	評価項目 4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点 (〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
	評価項目 4 の講評		
	<u>日常保育の延長と考え、子どもが興味を持って参加できるように工夫しています</u> 0～2歳児の乳児施設のため大々的な行事はありませんが、日常保育の延長と考え、職員が上手に組み立てて子どもたちが無理なく楽しめる範囲で実施しています。運動会ごっこは、近所の公園の広場でかけっこ、クラス競技、玉入れ、体操など運動会の雰囲気味わい、楽しんで参加することをねらいとして行いました。遠足ごっこは、お茶とおやつを持って、いつもと違う公園にでかけました。自然のものに触れたり観察したり、また公園を走ったり、固定遊具遊びを職員や友だちと一緒に楽しみました。子どもが興味を持って参加できるように工夫しています。 <u>様々な行事に参加することで、楽しみを味わえるようにしています</u> 新型コロナウィルス感染症の流行も終わり、以前のように戻して、様々な行事に取り組んでいます。年度初めの保護者会で年間行事予定表を配付し、園だよりや連絡帳、掲示等で保護者に取り組みを伝えています。乳児施設のため、発達段階から一つの目標に向かって協力して達成感を得られるような取り組みは難しいものの、運動会ごっこや遠足ごっこ、お店屋さんごっこの他、ハロウィンや七夕など園全体で楽しみを味わえるようにしています。行事は異年齢保育での活動も多いため、日常の保育に変化と潤いがもたらされています。		
5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている 評点 (〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
	評価項目 5 の講評		
	<u>保育時間が長い子どもが安心してゆったりとした雰囲気の中で過ごせるようしています</u> 保育時間が長い子どもが安心して過ごせるように小規模な園の利点を活かしゆったりとした雰囲気と環境の中での保育を行うようにしています。使用する部屋の環境づくりも工夫しています。手作りソファでゆったり絵本が読めるコーナーやマットを敷いたスペースで休息が取れるようにしたり、パズルなどの机上遊び、子どもたちが大好		

	きな車や電車などおもちゃを出したり、何をして遊びたいかを聞いて、その子の好きなおもちゃを出すなどしています。静と動の空間を作ったり、コーナー等で強制することなく子どもが好きな遊びができるように配慮しています。 <u>小規模園でワンフロア環境の中で、一人ひとりが安心できるよう努めています</u> 小規模園でワンフロア環境の中で、職員全員で子どもを見守ることを大切にしています。日常的に自然な流れの中で異年齢保育が行われているので、職員間の情報の共有化が図られており、子どもと職員のつながりも強く、家庭的な雰囲気の中で子どもが居心地の良い時間を過ごしています。保護者の帰りを待つ間に寂しくなったりしたときはスキンシップを図り、一人ひとりが安心できるよう努めています。安全に留意した上で普段できない室内遊びをすることもあり、保育時間が長くなる子どもが寂しさを感じないように配慮しています。		
6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している 評点 (〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当
	評価項目 6 の講評		
	<u>子どもたちが食に興味を持ち、楽しく食べられる雰囲気づくりを心がけています</u> 食育計画をもとに楽しく食べられる雰囲気づくりを心がけています。法人として食育目標と月齢別の食育のねらいを定め、食べることの大切さ、皆で食べることの楽しさを感じていくことで子どもたちが「食」に興味を持ち、感謝する心を育むことも給食の大きな役割と考えています。毎月の給食日よりとともにホームページにも掲載しています。季節の行事に合わせてのお楽しみメニューでは、例えば節分であればご飯を型押しして鬼の形に仕立てるなど楽しんで食べてもらえるよう工夫しています。玄関に設置するフォトディスプレイで毎日の献立を紹介しています。		
	<u>アレルギー対応食は保護者と相談の上、個別に配慮した食事を提供しています</u> 食物アレルギー対応マニュアルを整備し、医師の診断書、指示書をもとに保護者と給食担当者、園長、担任を含めた面談を行い、献立のチェックから調理、献立提供にいたるまで確認をし、個別トレイによる配膳をし、誤食防止に努めています。次月のアレルギー除去食カレンダーが出来上がったら、保護者と日程調整して打合せを実施します。職員は、当日のアレルギー対応食、除去食を確認し、配膳時には二重三重にチェックして誤配膳を防いでいます。離乳食に関しては家庭で一度試してもらった上で対応しています。		
	<u>栽培等は難しい環境ですが、栄養士が中心となり工夫しながら食育に取り組んでいます</u> 小規模園でバス通りに面していることもあり栽培は難しい環境ですが、栄養士が中心となり工夫しながら楽しめる食育に取り組んでいます。栄養士が買ってきた旬の野菜を使って野菜スタンプを行い、感触や匂いなど楽しんでいます。断面を活かした野菜スタンプは、まだ野菜を見たことがない乳児はもちろん、野菜があまり好きではない子どもも野菜好きになるきっかけになっています。毎月の「食育だより」には、食に関する話題をたくさん掲載し、家でも食育に関心を持ってもらえるようにしています。食べ物の絵本を読む機会も多く取り入れています。		
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点 (〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当

	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当												
	●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当												
評価項目 7 の講評															
<u>自分の健康や安全に興味・関心をもち、子ども自ら予防する姿勢を育んでいます</u> 散歩等の戸外活動の前には外出時のお約束を園児に話し、公園での遊び方、散歩時の信号の見方や横断歩道の渡り方など交通ルールを守って安全に移動する方法を知らせています。登園時や散歩から帰った際など子どもが自ら石けんを手を洗い清潔の意識をもてるような声かけや活動にも取り組んでいます。何でも自分でやりたい年齢の子どもたちは、身の回りの清潔について関心を持っていて、指示を待たずにケガや病気を防ぎながらの生活を少しずつ身に付けています。絵本、パネルシアターなども活用し健康教育に取り組んでいます。 <u>嘱託医により、定期健康診断を年2回実施しています</u> 嘱託医により、全園児の定期健康診断を年2回実施しています。健診結果を保護者と共有しており、毎月の身体計測の結果も保護者に知らせています。「保健日誌」に子ども一人ひとりの対応状況を記録し、保護者からの電話等での問い合わせにいつでも答えられるようにしています。医療的なケアが必要な子どもの入園については、入園前の面接で状況を把握し、医療機関の意見書で配慮事項を確認しています。園では原則薬を預かりませんが、医師記載の「与薬指示書」により保育中に投薬や塗布が必要なケースでは個別に相談に応じています。 <u>連携園と系列の認可保育所の協力で作成する「保健だより」は力を入れ取り組んでいます</u> 事故防止マニュアルなど整備されており、SIDS（乳幼児突然死症候群）の予防に向け0歳児は乳幼児呼吸モニターを使用しています。0歳児は5分ごと、1,2歳児は10分ごとに呼吸チェックを実施し、顔と体の向きも記録しています。連携園と系列の認可保育所の協力で、園独自に作成する「保健だより」は力を入れており、園内だけでなく、地域の感染症情報や健康に関する情報など保護者に提供し、安全に配慮した保育を行っています。園だより、給食だよりに加えて、「保健だより」も毎月保護者に提供しています。															
8	評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点（○○○○○） <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th><th style="width: 85%;">標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている ○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 保護者同士が交流できる機会を設けている ○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている ○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている ○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している ○非該当</td></tr> </tbody> </table> 評価項目 8 の講評 <u>子育ての悩みや個々の相談にも快く応じ、急な時間変更にも柔軟に対応しています</u> 小規模園の良さを活かし、保護者と日頃から会話を大切にしています。日々の保護者との会話や連絡帳のやりとり、個人面談等を通じて、気になる様子など把握したら積極的に声をかけ、子育ての悩みや個々の相談にも快く応じています。保護者の就労等の事情にも配慮して、様々な理由による急な時間変更にも柔軟に対応しています。経験豊富な園長は保護者とたくさん話したいと考えており、会話や相談などの場面で保護者の意見・要望も聞いています。園だよりには子育てのポイントも掲載しています。 <u>保育参観や保護者会など、園の取り組みがしっかり理解されるよう取り組んでいます</u> 小規模園ながら、保護者同士が交流できる機会を積極的に設けています。11月頃に行った保育参観ではクラス別に3日間の週案を作成し、日毎・天候毎に活動内容は何かを保護者に伝え、どの日でも参加可能なものとして実施し、保護者同士の交流も図られました。毎日参加する保護者もいたり、実施後の保護者アンケートでは「普段の姿を見られて成長を感じられた。良い環境に毎日過ごしていることに感謝」などの声がありました。コロナ禍が明け、昨年度から年2回の保護者会も再開し、園の取り組みがしっかり理解されるよう取り組んでいます。			評価	標準項目	●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている ○非該当	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている ○非該当	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている ○非該当	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている ○非該当	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している ○非該当
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている ○非該当														
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている ○非該当														
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている ○非該当														
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている ○非該当														
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している ○非該当														

	<u>家庭と共育てができるよう信頼関係づくりに努めています</u> 5月に行う保護者会では園の方針やクラス別の年間保育計画などがテーマで、2月に行う保護者会では園の自己評価結果の報告と一年間の成長の振り返りなどをテーマに行いました。保護者会では「笑顔での挨拶」を大切にしていることを伝えたとこ、保護者も子どもの手本になるような笑顔での挨拶が多くみられています。年度末の保護者アンケートは12の具体的な項目について評価を記入してもらい、自由意見含め集計結果を保護者にフィードバックしています。子どもの日々の様子をしっかり伝え、家庭と共育てができるよう信頼関係づくりに努めています。		
9	評価項目 9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
	評価項目 9 の講評		
	<u>園の周辺の自然あふれる多くの公園を、戸外遊びの場として活用しています</u> 園は園庭がないため、天候の良い日には毎日0～2歳児クラスみんなでいろいろな公園に出かけ遊んでいます。バス通りに面した園で周囲は住宅が多い中ですが、自然あふれる公園も多くあり散歩ルートを考えるなどして子どもたちが地域を知る機会を作っています。子どもたちは車や電車が大好きで、最寄駅近くまで行き電車を見たり、働く車を見たり、散歩の途中で児童館に立ち寄ったり、地域の人に挨拶したり、交番のお巡りさんに声をかけてもらったりしています。地域に親しみ、公園で出会う親子や時には他園の子どもたちと交流を図っています。		
	<u>職員以外の人と交流できる機会、地域との交流に向けさらなる取り組みが期待されます</u> 散歩ルートを考えるなどして子どもたちが地域を知る機会を作り、園以外の人と触れ合える取り組みを行っていますが、小規模園のため地域の人を園に招くことは難しく、また地域の行事に参加する等の取り組みも不十分な状況です。今後、園では地域とのかかわりを増やしていきたいとも考えており、毎年行っている看護実習生の受け入れをきっかけにした取り組みや町会との連携などにより、様々な活動を積み重ね地域社会との交流を進められることが期待されます。		

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	絵本に親しむ機会を大切に、絵本に興味や感心を深め親しめるように環境を整えています	
内容①	園では絵本に親しむ機会を大切にしており、乳幼児期の言葉の発達の支援として、絵本に親しみながら子どもが読みたい本を読む等の読み聞かせを実施しています。「楽しく、夢の広がる絵本で想像力を養う」ことを目的に、10月11月は絵本の読み聞かせ月間として設定し、読み聞かせ月間に合わせて園内研修で振り返り、次につなげています。絵本の読み聞かせは、言葉の基礎となる話すことや聞くこと、表現する力を伸ばし高めるきっかけとなり、感情や感性を豊かにするとされており、絵本に興味や感心を深め親しめるように環境を整えています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-7	子どもの心身の健康を維持できるよう援助している
タイトル②	保健だよりを毎月発行し、その時期に見合った様々な健康情報を保護者に届けています	
内容②	小規模園で看護師がいませんが、連携園（東綾瀬保育園）の看護師による勉強会を実施したり、良い関係で行き来があります。連携園とともに系列の認可保育所（ステラ千住ふたば保育園）の協力で作成する園独自の「保健だより」は力を入れて取り組んでおり、様々な健康管理に役立つ情報を提供しています。園内だけでなく、地域の感染症情報や健康に関する情報など保護者に提供し、安全に配慮した保育を行っています。園だよりとともに保健だよりも毎月保護者に提供し、感染症情報、保健トピックスなど、その時期に見合った健康情報を保護者に届けています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	保護者会を再開し、園の取り組みしっかり伝え、理解が得られるように取り組んでいます	
内容③	年2回の保護者会を再開し、園の取り組みについてしっかり理解が得られるように取り組んでいます。5月の保護者会では園の方針やクラス別の年間保育計画などがテーマで、2月の保護者会では園の自己評価結果の報告と一年間の成長の振り返りなどをテーマに行いました。保護者会の実施に先立って事前に保護者アンケートを実施し、事前に質問や意見を収集・とりまとめ、保護者会当日に「保護者からの質問・相談について」として回答を配付し、伝えています。子どもの日々の様子をしっかり伝え、家庭と子育てができるよう信頼関係づくりに努めています。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	保育の質を高めるための園内研修を充実させており、職員のレベルアップを計画的に進めています
	内容	これまで研修は毎年度「足立区・法人・キャリアアップ研修計画」に基づくものが主体でしたが、今年度から新たに園独自に「令和6年度 園内研修計画」を追加設定しています。園長と教育担当職員が毎月のテーマとリーダーを決め、テーマとしては、保育園運営、法人研修、保育手法、安全保育、絵本読み聞かせ、感染予防対策、保育振り返りなどを設定、その月に見合ったタイムリーな内容となっています。研修後には、毎回有効性評価と今後の方向性を報告書に明記するなど、園内研修の充実化が図られています。
2	タイトル	安全保育プロジェクト（危険管理）を発足させ、安全計画を含む取り組みを展開、内容の充実化が図られています
	内容	安全保育に関してこれをプロジェクト化して、職員が一丸となって取り組んでいます。例えば、散歩コースと公園遊具などを実際に複数の職員が見て回り、新たな「お散歩マップ」を作成しています。室内においても洗い出しを行い、修繕計画に反映しています。また、万が一の事故発生に備え、緊急時に焦っている場合でも冷静な対応ができるように、“いの一番”にすべき行動をアクションカード（パウチ、10枚）に明示して、リングに留めて0歳児室・1歳児室・2歳児室・事務所の各部屋（4ヶ所）にフックに吊り下げるなど、危機意識の高まりを感じます。
3	タイトル	ヒヤリハットの重要性を認識し、職員が各事象からの学びを得る研修を実施、安全意識を高めています
	内容	令和6年度の園内研修には、安全保育の確認（4月～6月分のヒヤリハット集計、7月）を組み込んでいます。一方で、足立区主催の危機管理に関するWeb研修に参加し、ヒヤリハットの重要性をさらに認識し、この3ヶ月間に提出された9件つき、1件ずつ表形式にてヒヤリハット事象の内容・原因・対応について職員がそれぞれ意見を出し合い、今後この種の事象への対応はどのようにするか解決方法を導くという取り組みを実施しています。このような共有化が図られることで、職員全体のリスクへの配慮・安全意識を高めています。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	安全計画の実践において、当年度開始前の計画改定（毎年）が期待されます
	内容	現在園においては安全計画（R5.4.1）が整備され、この時すでに作成済を含む各種安全マニュアルの内容見直しも同時にされています。また、安全点検（①散歩コース経路、公園遊具の確認、②施設点検チェック、③火災報知器）、避難訓練（地震、火災、消火、通報、水害、地震による火災）も計画され、本年度もそれに基づき毎月の点検・訓練・研修を実施しています。しかしながら、これには昨年度版を使用しており、今年度用に改訂されたものを使っていません。当該年度開始を前に、安全計画を事前に更新しておくことが適切であり期待されます。
2	タイトル	拠り所としている各種マニュアルに日付・改訂履歴を設ける等、最新版管理が期待されます
	内容	マニュアル類は、保育、給食、保健、事務など各職務に応じたものが整備されています。一方、安全計画（令和5年4月1日改定）にて、対象となるマニュアルの策定・共有として、策定日と見直し予定日が計画表に明示されてはいるものの、マニュアルそのものには、来歴のわからないものが数多く存在しているため、整理しておくことが期待されます。また、安全計画の対象外としているものも同様、来歴や識別表示がないため、最新版管理がされているかの確証が得られない状況となっています。
3	タイトル	小規模園ですが、子どもが職員以外の人と交流できる機会を少しずつ増やしていきたいと考えており、今後のさらなる取り組みが期待されます
	内容	散歩ルートを考えるなどして子どもたちが地域を知る機会を作り、園以外の人と触れ合える取り組みを行なっています。小規模園のため地域の人を園に招くことは難しく、また地域の行事に参加する等の取り組みも不十分な状況ですが、園では今後の課題として地域とのかかわりを少しずつ増やしていきたいと考えています。毎年行っている総合病院の看護実習生の受け入れをきっかけにした取り組みや町会との連携、高齢者施設とのかかわりなど、様々な活動を積み重ね、地域社会との交流を進められることが期待されます。